

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《 2006年10週 》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「レプトスピラ症」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2006年10週》

### (全数把握対象疾患)

・今週報告されたA型肝炎のうち2症例は生がきの喫食が確認されている。また、梅毒のうち2症例は夫婦である。

区分	疾患	報告件数	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソネ菌	インド
四類	A型肝炎	3	推定感染経路:経口感染2件、不明1件	国内2件、エジプト1件
	オウム病	1	推定感染経路:インコからの感染	国内
	マラリア	1	三日熱	パプアニューギニア
	レジオネラ症	3	血清群1:2件、血清群不明:1件 推定感染経路:不明	国内
五類	アメーバ赤痢	7	推定感染経路:経口感染2件、不明5件	国内2件、中国1件、 東南アジア1件、 不明3件
	ウイルス性肝炎	3	B型 推定感染経路:異性間性的接触2件、不明1件	国内
	HIV感染症	11	無症候性キャリア9件、AIDS2件 推定感染経路:異性間性的接触1件、 同性間性的接触7件、不明3件	国内10件、不明1件
	梅毒	3	早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、 無症候梅毒1件 推定感染経路:異性間性的接触	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が、さらに増加し定点あたり2.51人となった。インフルエンザの報告数は3.94人まで減少したが、定点医療機関からは迅速キットによるB型の報告が増えてきた。

### (検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ		鼻汁	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型	遺伝子
インフルエンザ	49	鼻汁	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型、 アデノウイルス、EBウイルス	
急性咽頭炎		咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	EBウイルス	
急性上気道炎	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
急性気管支炎	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAソ連(AH1)型	
急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
肺炎	3	喀痰	アデノウイルス	
マイコプラズマ肺炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
熱性けいれん	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
熱性けいれん	7	咽頭拭い液	ライノウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
頸部リンパ節腫脹	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子	
ムンプス	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス		
単純ヘルペス	4	鼻腔拭い液	単純ヘルペスウイルス		
突発疹、ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
急性脳炎、脳症	8	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス		
脳症、突発性発疹、熱性けいれん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、ポリオウイルス1型		
		糞便	ヒトヘルペスウイルス6型、ポリオウイルス1型、アデノウイルス		
急性胃腸炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス		
急性胃腸炎	8M	糞便	A群ロタウイルス、アデノウイルス		抗原/遺伝子
急性胃腸炎	4	糞便	A群ロタウイルス、アデノウイルス		
ロタウイルス胃腸炎	6	糞便	A群ロタウイルス	抗原	
急性胃腸炎	0	糞便	ロタウイルス		
下痢	1	糞便	ロタウイルス		
インフルエンザ、突発疹	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	*分離	
インフルエンザ	2	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型		
インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型		
咽頭炎	3	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型		
急性咽頭炎		咽頭拭い液	アデノウイルス3型		
感染性胃腸炎	4	糞便	アデノウイルス40/41型		
下痢症	59	糞便	毒素原性大腸菌(ST)		
急性胃腸炎	5	直腸拭い液	病原大腸菌O146		
細菌性赤痢 #	28	菌株	フレキシネル菌(3a)		同定

\* 遺伝子検査で報告済みの検体を含む # 全数把握対象疾患の報告症例からの検体

#### ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	77	15		15		

## 定点医療機関・保健所からのコメント

定点医療機関からのインフルエンザ情報を表にまとめた。

管轄保健所	A型	B型	未検査・不明
文京		1	3
	2		
台東	1		
	10		
大田区	5		
	8		
	17	3	
中野区		5	
		2	1
練馬区	3	6	

西多摩保健所 : 咽頭結膜熱小流行

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2006年10週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群						( )	( )
	痘そう						( )	( )
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ						2	7
	細菌性赤痢	1	2	2	2	11	10	80
	ジフテリア							
	腸チフス	1				5		9
	パラチフス					1		3
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1		1		9	6	83
四類	E型肝炎							(11)
	ウエストナイル熱						( )	( )
	A型肝炎			1	3	9	(8)	(55)
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病				1	2		6
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ						( )	( )
	コクシジオイデス症							
	サル痘						( )	( )
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病						1	17
	デング熱			1		1	1	6
	ニパウイルス感染症						( )	( )
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症		1			1		1
	発しんチフス							
ボツリヌス症						( )	( )	
マラリア				1	5	2	7	
野兔症						( )	( )	
ライム病								
リッサウイルス感染症						( )	( )	
レジオネラ症	1	2	1	3	9	5	75	
レプトスピラ症						( )	( )	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	3	5	7	35	13	115
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)				3	6	5	42
	急性脳炎			1		4	(2)	(46)
	クリプトスポリジウム症			2		2		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			5		26
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	1	26
	後天性免疫不全症候群	10	8	7	11	84	12	195
	ジアルジア症					1	2	11
	髄膜炎菌性髄膜炎							5
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	1		3	17	5	101
	破傷風	1				1		6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		7

2006/03/20集計

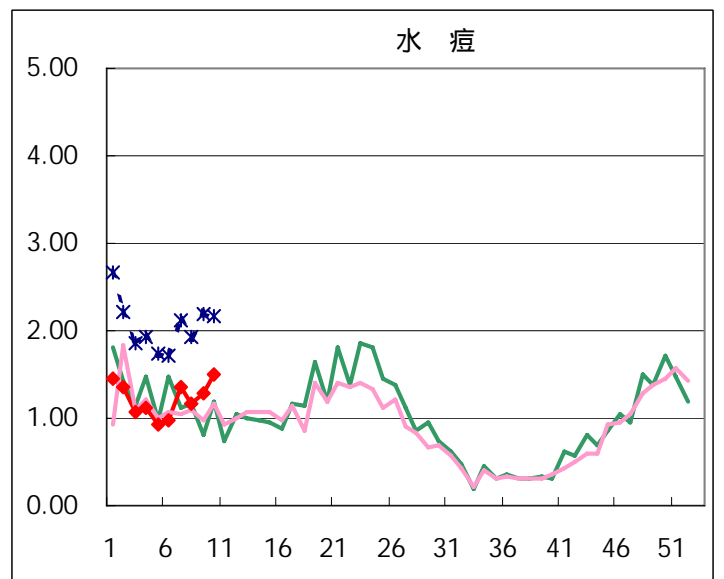
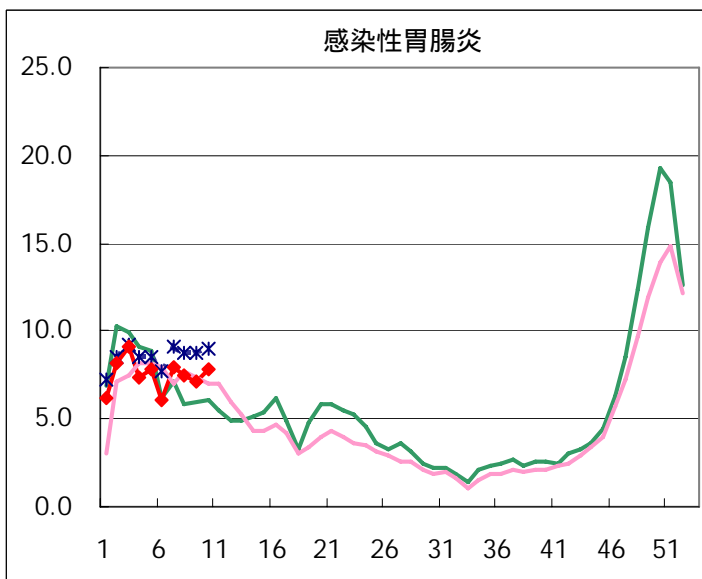
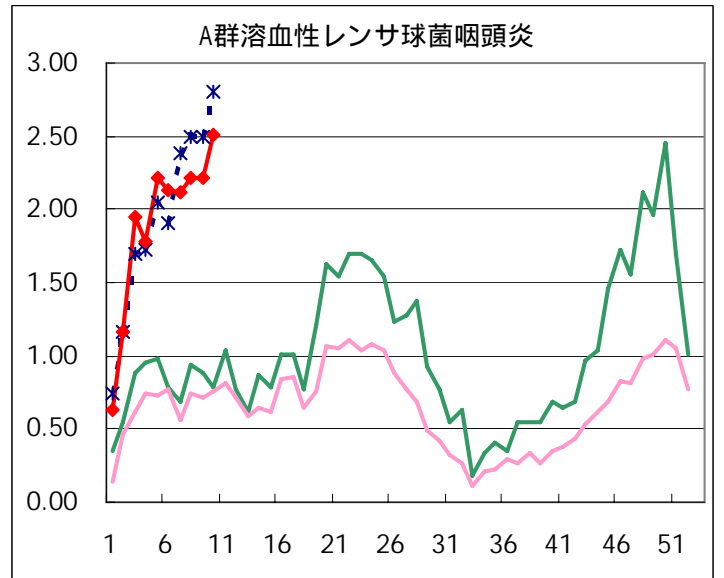
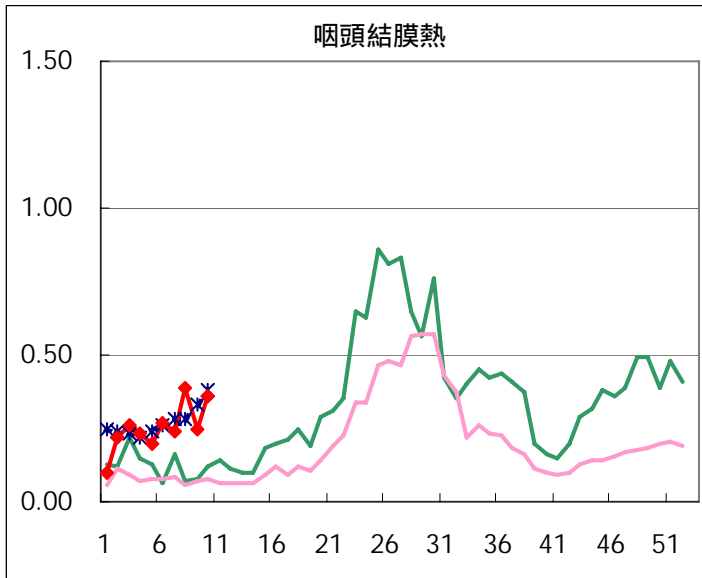
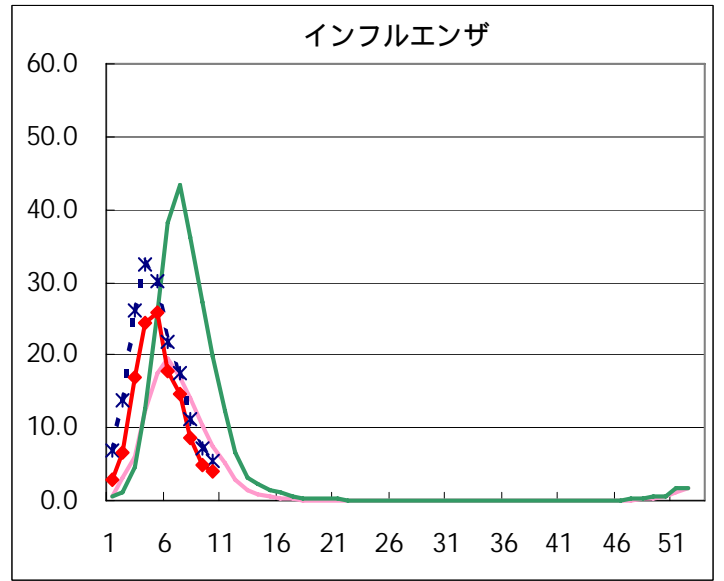
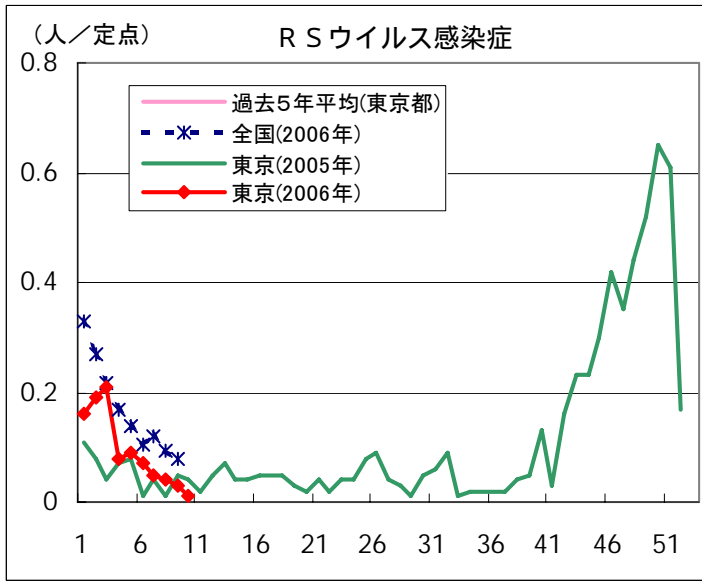
(カッコ内の数値は9週分)

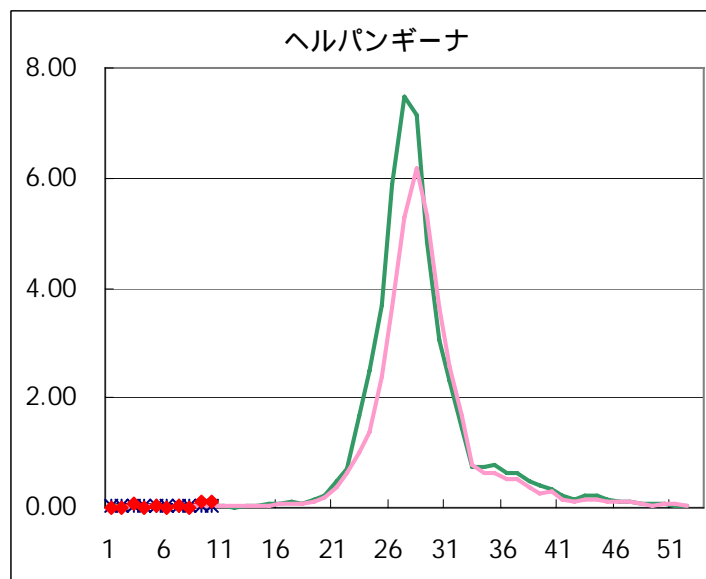
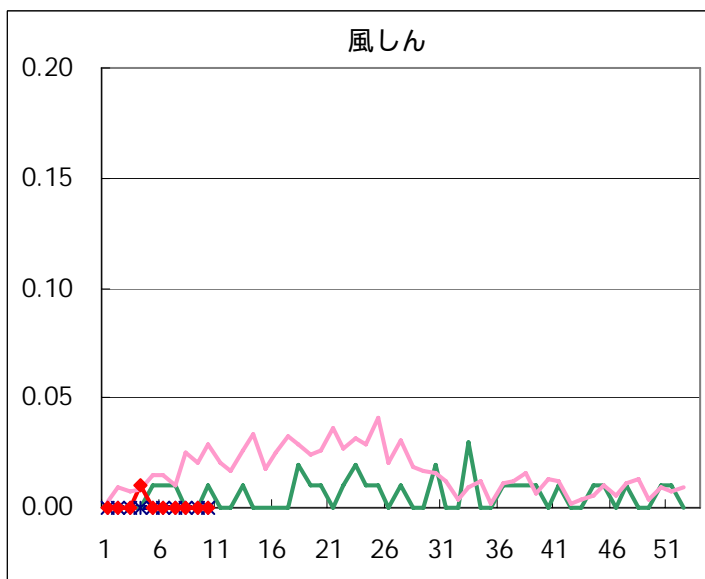
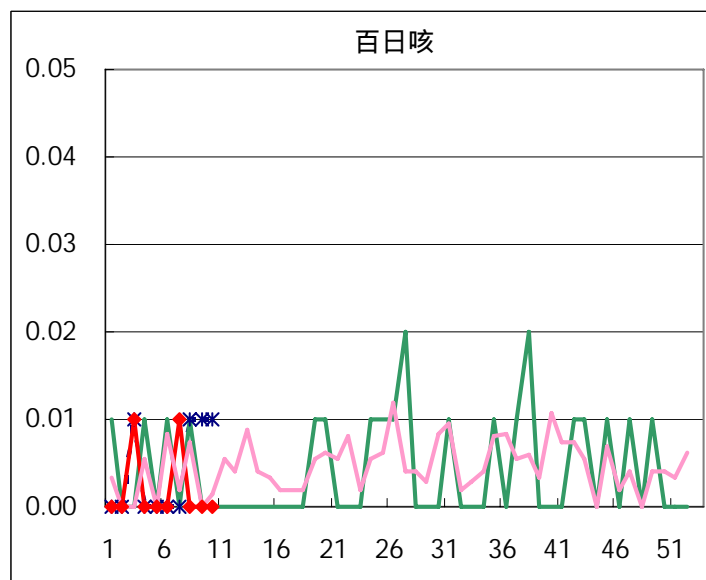
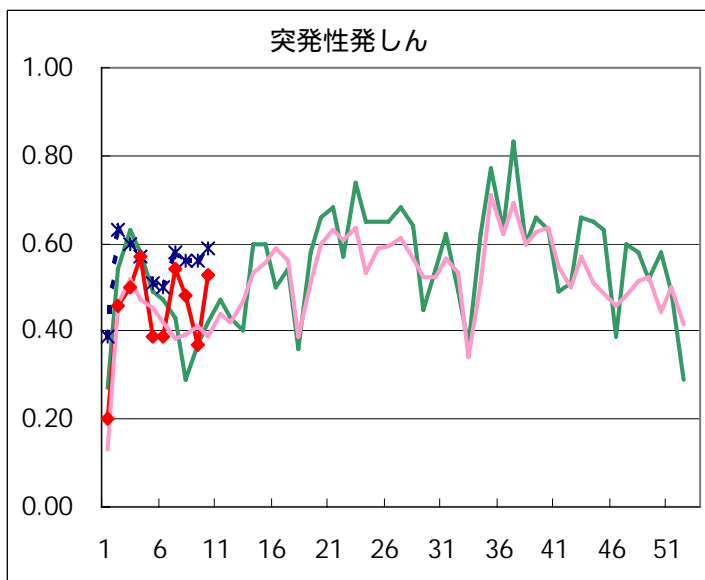
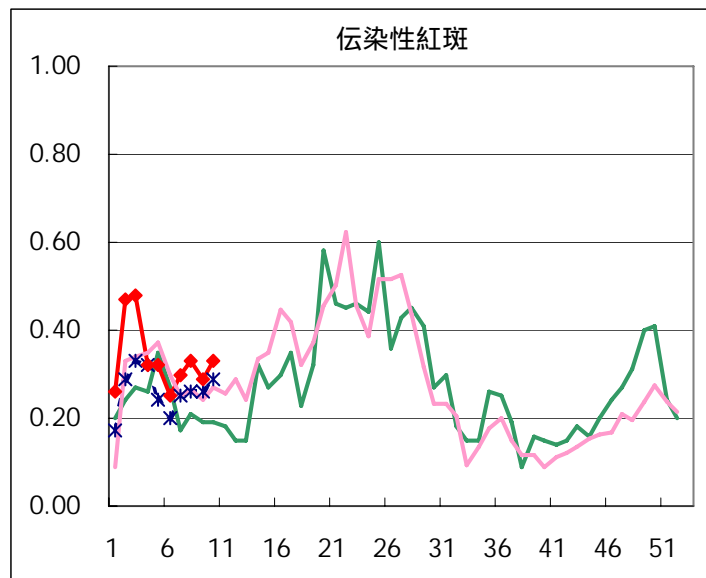
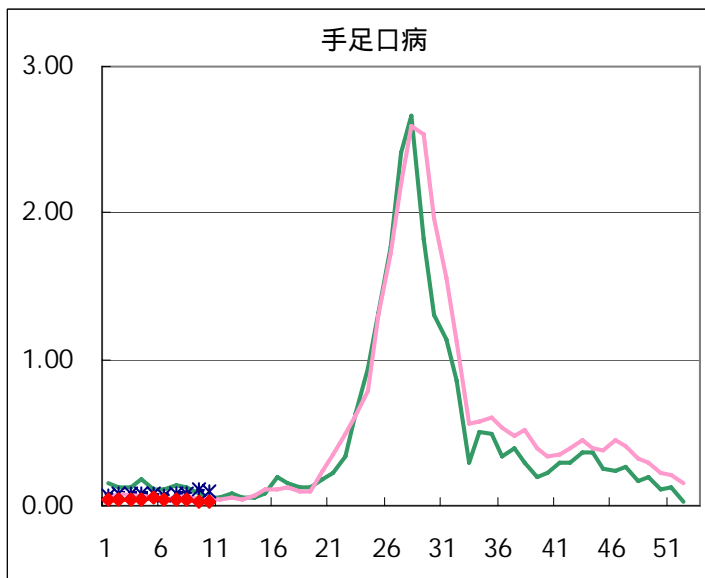
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年10週

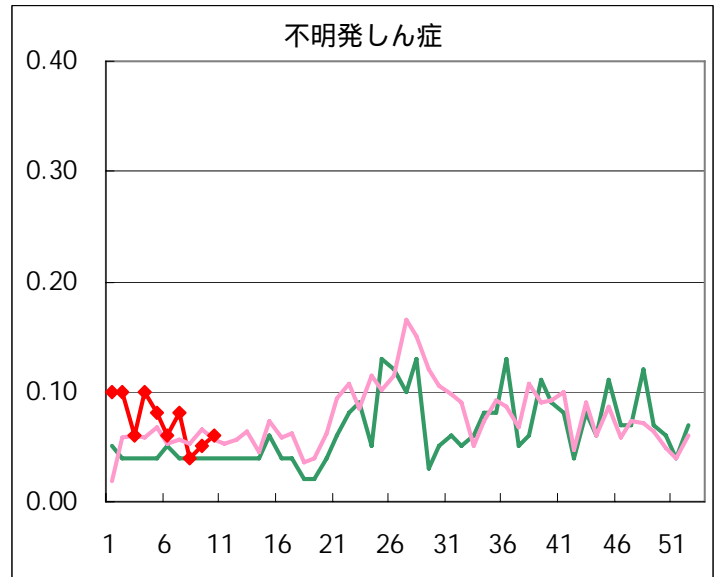
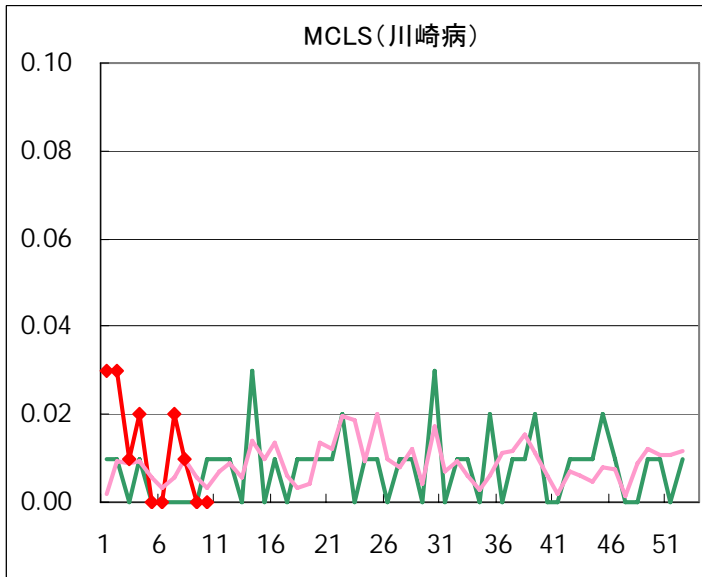
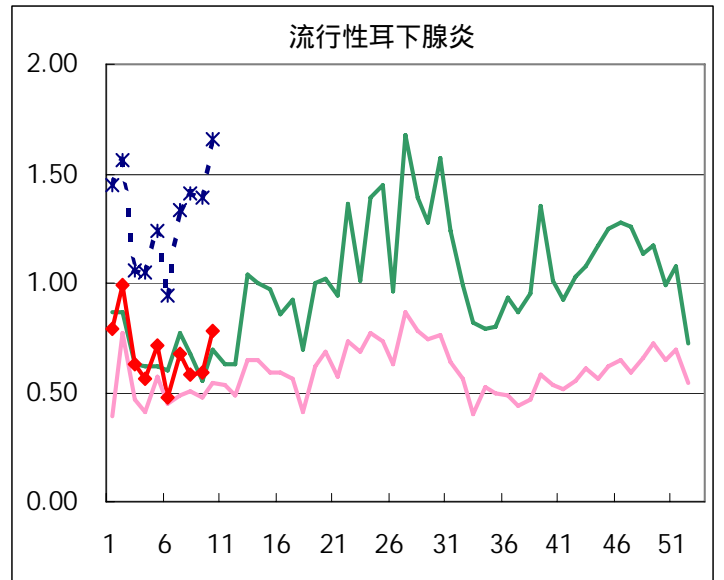
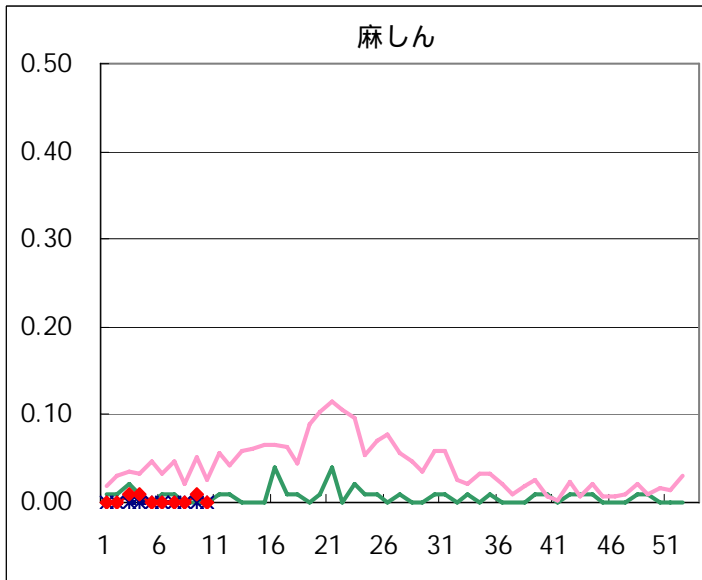
疾病名	性	2006年				4週合計	年累計
		7	8	9	10		
RSウイルス感染症	男	5	1	1	2	9	76
	女	2	4	3		9	60
インフルエンザ	男	1,302	788	452	339	2,881	11,339
	女	1,308	764	440	363	2,875	11,231
咽頭結膜熱	男	16	31	22	31	100	188
	女	18	24	13	20	75	168
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	140	175	170	196	681	1,420
	女	160	140	145	160	605	1,270
感染性胃腸炎	男	584	544	524	570	2,222	5,405
	女	536	519	480	536	2,071	5,236
水痘	男	102	85	89	114	390	889
	女	91	80	94	97	362	846
手足口病	男	2	3	2	2	9	30
	女	3	2	2	2	9	26
伝染性紅斑	男	24	24	20	23	91	245
	女	19	23	21	24	87	231
突発性発しん	男	41	32	26	40	139	330
	女	36	36	27	35	134	302
百日咳	男						
	女	1				1	2
風しん	男						1
	女						1
ヘルパンギーナ	男	4	1	8	8	21	28
	女	3	1	8	10	22	30
麻しん(成人麻しんを除く)	男			1		1	4
	女						
流行性耳下腺炎	男	50	41	47	62	200	513
	女	46	42	37	49	174	452
不明発しん症	男	6	5	5	4	20	58
	女	5	1	2	4	12	43
MCLS	男	1				1	9
	女	2	1			3	8
急性出血性結膜炎	男						
	女				1	1	1
流行性角結膜炎	男	1	4	2	3	10	32
	女		1	8	2	11	26
細菌性髄膜炎	男		1			1	2
	女						
無菌性髄膜炎	男						1
	女		1	1		2	2
マイコプラズマ肺炎	男			1		1	10
	女			2	1	3	6
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年10週現在

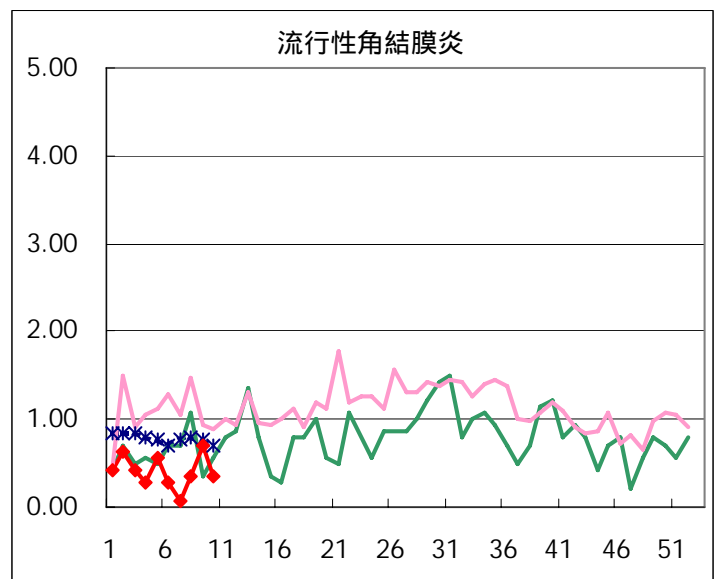
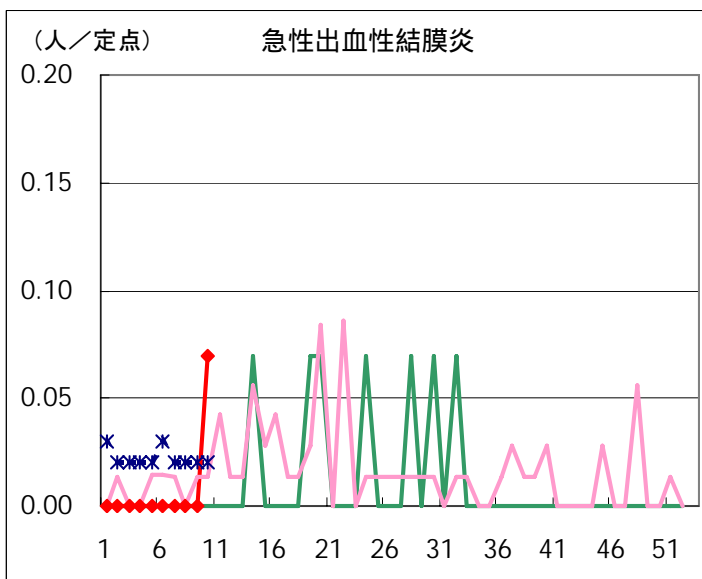
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





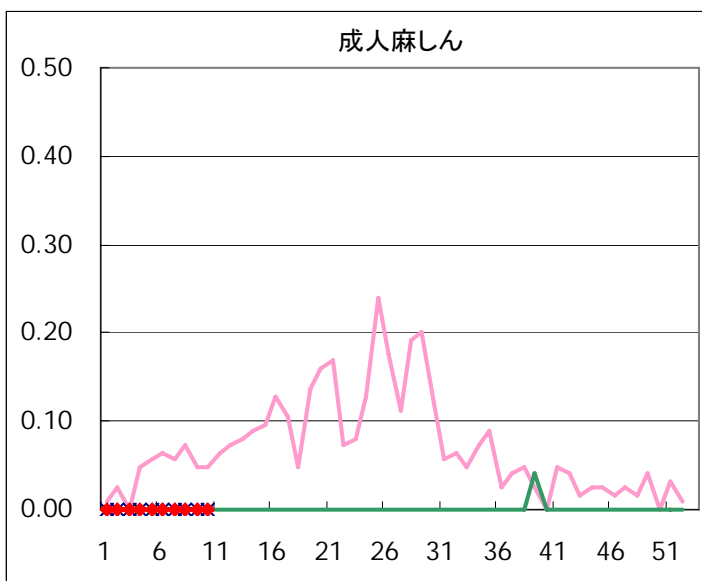
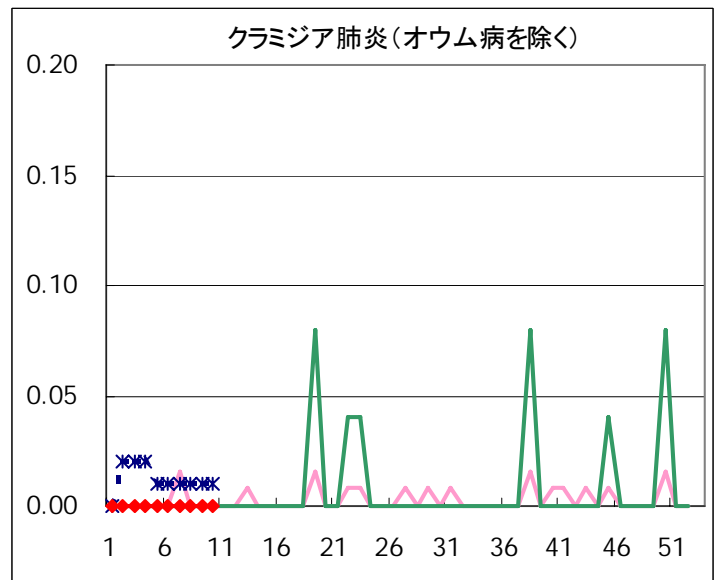
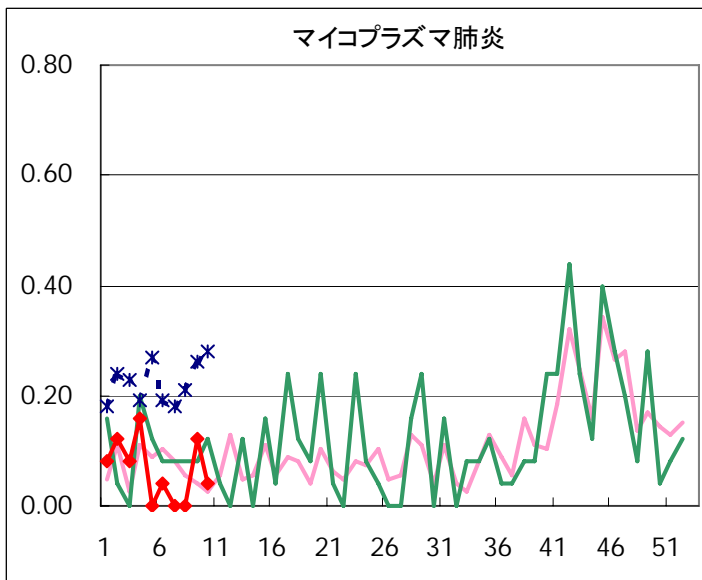
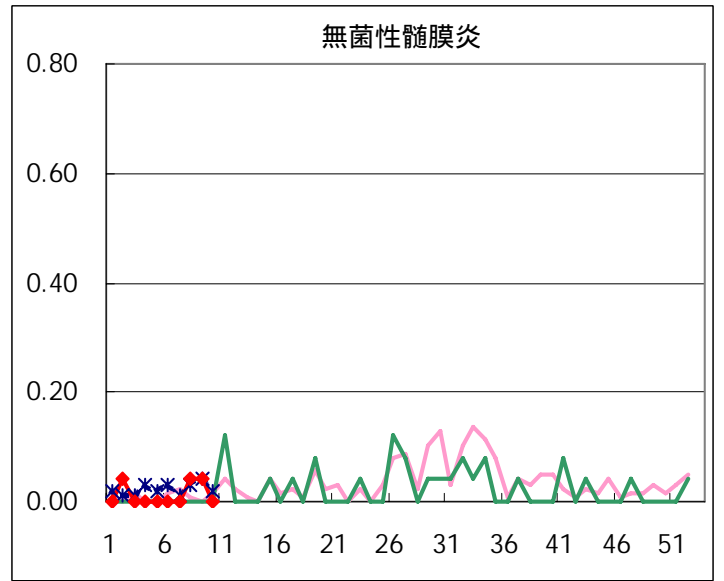
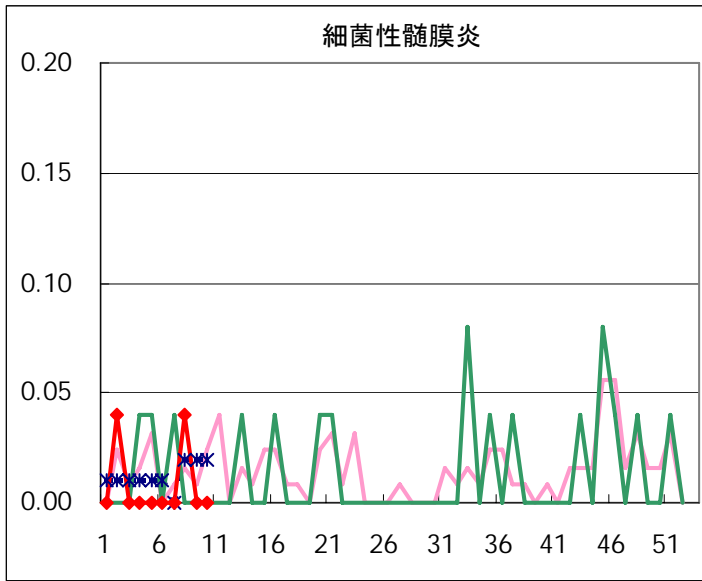


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年10週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	1		1	3	5				1	
中央区		9		5	14	7			4	
みなと	1	4	9	11	39	6	1		1	
新宿区		16		4	24	10				
文京		14		4	10					
台東		11	2	14	25	8			2	
墨田区		19		5	25	3			2	
江東区		19		11	34	3		7		
品川区		14		26	81	21		2	2	
目黒区		21		5	14	1			1	
大田区		37	4	29	108	15		6	4	
世田谷		31	2	6	49	11		4	6	
渋谷区		4		3	55	7		3	1	
中野区		38		10	43	8		1	4	
杉並		41	3	6	90	6		1	6	
池袋		15							1	
北区		17		27	32	17		2	3	
荒川区		9	1	11	27	6		1	1	
板橋区		6	1	1	30	2		1	3	
練馬区		30		19	29	6			3	
足立		7		8	24	5			6	
葛飾区		19		19	17	11	1	7	3	
江戸川		50	12	43	59	14		6	3	
西多摩		14	8	9	43	7			1	
八王子		26	4	23	21	4			4	
南多摩		35		9	27	6			1	
町田		18		9	54	11		3	1	
多摩立川		18			15	1		1	1	
多摩府中		77	1	12	47	11	2		4	
多摩小平		60	3	20	65	2		2	6	
島しょ		23		4		2				

東京都合計	2	702	51	356	1,106	211	4	47	75	-
定点当り報告数	0.01	3.94	0.36	2.51	7.79	1.49	0.03	0.33	0.53	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2006年10週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田				1					12
中央区				9					48
みなと				2					74
新宿区				3		2			59
文京				5					33
台東		1		2					65
墨田区				4					58
江東区				2		1			77
品川区				6					152
目黒区									42
大田区				4	1		1		209
世田谷				3					112
渋谷区				2					75
中野区				2					106
杉並				4					157
池袋						1			17
北区				5					103
荒川区				14		1			71
板橋区				4			1		49
練馬区				2					89
足立				3					53
葛飾区				6			2		85
江戸川				4					191
西多摩				7					89
八王子				2			2		86
南多摩		3		1					82
町田							1		97
多摩立川				6					42
多摩府中				3					157
多摩小平		14		5			1		178
島しょ									29

東京都合計	-	18	-	111	1	5	8	-	2,697
定点当り報告数	-	0.13	-	0.78	0.07	0.36	0.06	-	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年10週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	0.25		0.25	0.75	1.25				0.25	
中央区		2.25		1.67	4.67	2.33			1.33	
みなと	0.17	0.57	1.50	1.83	6.50	1.00	0.17		0.17	
新宿区		2.29		0.67	4.00	1.67				
文京		3.50		1.33	3.33					
台東		2.75	0.67	4.67	8.33	2.67			0.67	
墨田区		4.75		1.67	8.33	1.00			0.67	
江東区		4.75		3.67	11.33	1.00		2.33		
品川区		2.00		4.33	13.50	3.50		0.33	0.33	
目黒区		5.25		1.67	4.67	0.33			0.33	
大田区		3.70	0.44	3.22	12.00	1.67		0.67	0.44	
世田谷		3.44	0.25	0.75	6.13	1.38		0.50	0.75	
渋谷区		0.80		0.75	13.75	1.75		0.75	0.25	
中野区		5.43		1.67	7.17	1.33		0.17	0.67	
杉並		5.86	0.50	1.00	15.00	1.00		0.17	1.00	
池袋		2.50							0.20	
北区		3.40		6.75	8.00	4.25		0.50	0.75	
荒川区		3.00	0.50	5.50	13.50	3.00		0.50	0.50	
板橋区		0.86	0.17	0.17	5.00	0.33		0.17	0.50	
練馬区		5.00		3.80	5.80	1.20			0.60	
足立		1.40		2.00	6.00	1.25			1.50	
葛飾区		3.80		4.75	4.25	2.75	0.25	1.75	0.75	
江戸川		10.00	3.00	10.75	14.75	3.50		1.50	0.75	
西多摩		2.00	1.60	1.80	8.60	1.40			0.20	
八王子		8.67	2.00	11.50	10.50	2.00			2.00	
南多摩		8.75		3.00	9.00	2.00			0.33	
町田		6.00		4.50	27.00	5.50		1.50	0.50	
多摩立川		2.25			2.50	0.17		0.17	0.17	
多摩府中		5.92	0.10	1.20	4.70	1.10	0.20		0.40	
多摩小平		7.50	0.50	3.33	10.83	0.33		0.33	1.00	
島しょ		11.50		4.00		2.00				

東京都合計	2	702	51	356	1,106	211	4	47	75	-
定点当り報告数	0.01	3.94	0.36	2.51	7.79	1.49	0.03	0.33	0.53	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年10週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田				0.25				
中央区				3.00				
みなと				0.33				
新宿区				0.50		1.00		
文京				1.67				
台東		0.33		0.67				
墨田区				1.33				
江東区				0.67		1.00		
品川区				1.00				
目黒区								
大田区				0.44	1.00		0.11	
世田谷				0.38				
渋谷区				0.50				
中野区				0.33				
杉並				0.67				
池袋						1.00		
北区				1.25				
荒川区				7.00		1.00		
板橋区				0.67			0.17	
練馬区				0.40				
足立				0.75				
葛飾区				1.50			0.50	
江戸川				1.00				
西多摩				1.40				
八王子				1.00			1.00	
南多摩		1.00		0.33				
町田							0.50	
多摩立川				1.00				
多摩府中				0.30				
多摩小平		2.33		0.83			0.17	
島しょ								

東京都合計	-	18	-	111	1	5	8	-
定点当り報告数	-	0.13	-	0.78	0.07	0.36	0.06	-

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年10週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月		5			15	1			5
～1歳		5	1		45	11			34
1歳	1	31	2	4	141	27			33
2歳		34	1	12	85	41	1	5	3
3歳		47	5	22	81	29	1	3	
4歳		67	14	49	100	41		7	
5歳		87	7	79	91	34	1	5	
6歳		63	4	70	84	9	1	6	
7歳		54	4	40	78	8		6	
8歳		67	6	22	59	2		7	
9歳		31	4	16	37	4		4	
10～14歳		63	2	25	104	3		4	
15～19歳		8		2	19				
20～29歳	1	15	1	15	167	1			
30～39歳		69							
40～49歳		29							
50～59歳		11							
60～69歳		6							
70～79歳		4							
80歳以上		6							
合計	2	702	51	356	1,106	211	4	47	75
先週比	-2	-190	16	41	102	28	0	6	22

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月								1	
～1歳								1	
1歳			7		1			2	
2歳			5		5				
3歳					22			2	
4歳			2		17			1	
5歳			1		21			1	
6歳			1		19				
7歳					7				
8歳					6				
9歳					2				
10～14歳					5		1		
15～19歳			1		1				
20～29歳			1		5	1	1		
30～39歳							2		
40～49歳							1		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	18	-	111	1	5	8	-
先週比	0	0	2	-1	27	1	-5	1	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2006年3週～10週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2006年								
		3	4	5	6	7	8	9	10	
ウイルス	アデノ	9	5	7	8	5	7	5	9	55
	ライノ		2		7	10	4	2	4	29
	ポリオ						1	1	2	4
	コクサッキーA群	3								3
	コクサッキーB群									
	エコー				1					1
	エンテロ71									
	その他のエンテロ				3		1		3	7
	単純ヘルペス		1		2		1	1	2	7
	水痘・帯状疱疹							1		1
	ヘルペス6/7	2	2		4	3	1	3	3	18
	EB				1	3		3	3	10
	サイトメガロ		3				2			5
	ムンプス			1		1	1	1	1	5
	麻疹									
	風しん							1		1
	パルボB19		1							1
	RS	6	6	4	1	2	4	2	1	26
	ノロ	37	103	53	22	65	81	34	15	410
	ロタ	1	1	1		1	18	6	5	33
インフルエンザAソ連型	14	4	7	3	6	22	4	3	63	
インフルエンザA香港型	28	69	8	8	22	13	4	5	157	
インフルエンザB型										
デング										
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター							1		1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	3				4				7
	その他の腸管系病原菌	1				2			3	6
	溶血性レンサ球菌	2	1					9		12
	MRSA	1								1
	MSSA									
	その他の細菌	1					1	1		3
その他の病原体				1						1

臨床診断名別検出結果 2006年3週～10週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	308	44	57	1470	8	3			2		1	24	12				177	
アデノ	1	10	7	12	1	1			2			4	5				12	55
ライノ	3	2	2	2	2							3	3				12	29
ポリオ				1								3						4
コクサッキーA群									3									3
コクサッキーB群																		
エコー																	1	1
エンテロ71																		
その他のエンテロ		4	1	2														7
単純ヘルペス		1							2								4	7
水痘・帯状疱疹しん											1							1
ヘルペス6/7	1			1					1			6					9	18
EB		3	2										2				3	10
サイトメガロ		1	1									1					2	5
ムンプス					2								3					5
麻疹																		
風しん																	1	1
パルボB19																	1	1
RS	3		16			1											6	26
ノロ				410														410
ロタ				33														33
インフルエンザAソ連型	58	3	2															63
インフルエンザA香港型	151	4															2	157
インフルエンザB型																		
カンピロバクター			1															1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	7	7
その他の腸管系病原菌				2													4	6
溶血性レンサ球菌																	12	12
その他の病原体			1														4	5
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



## <感染症豆知識>

### レプトスピラ症

レプトスピラ症はスピロヘータの感染によって発症する人獣共通感染症である。1886年ドイツ人医師 Adolf Weil により初めて報告された。日本では1914年に病原体が分離された。近年、東南アジア諸国、中南米諸国では大規模発生している。レプトスピラはスピロヘータ科のグラム陰性好気性菌で、螺旋状した両端の鉤状が暗視野下で鏡検できる。病原性の *L. interrogans* と非病原性の *L. biflexa* に大別され、免疫学的に30余の血清群が、さらに250以上の血清型に分類される。レプトスピラは、ネズミなどが無症状で保菌し、腎臓で増殖して、長期間にわたり尿中に排出される。ヒトや家畜、野生の動物は保菌動物の尿に触れたり、汚染された水田、池や土壌などから経皮的、経口的に感染する。潜伏期は3～14日で、発熱、全身倦怠、筋肉痛、結膜充血などが見られ、蛋白尿、黄疸、出血は三大主徴である。黄疸出血性レプトスピラ症(ワイル病)は重症型で、昏睡、痙攣、虚脱を呈すると予後不良である。秋季レプトスピラ症は秋疫、七日熱、天竜熱、用水病等とも言われ、秋に散発的な発生をみる。なお、発症後の水晶体混濁は要注意。ヒトは終末宿主である。近年ではアウトドア愛好者や海外旅行者に感染が増えている。治療はストレプトマイシンが推奨される。予防は、ネズミ駆除や野犬の取り締まりなどの環境衛生の改善とワクチン接種が有効である。イヌレプトスピラ症は *L. canicola* によるもので、不顕性感染が多く、長期間レプトスピラ尿症を呈し、ヒトの感染源となる。予防にはワクチンが接種されている。

(文責・池田忠生)